



2025年2月3日

各 位

会 社 名 京阪神ビルディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 若林 常夫
(コード番号 8818 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員管理統括 多田 順一
(TEL 06-6202-7331)

サステナビリティ・リンク・ボンド発行に関するお知らせ

京阪神ビルディング株式会社(以下、当社)は、当社2回目となるサステナビリティ・リンク・ボンド(※1)(以下、本社債)を発行する予定であり、本日2月3日に、本社債発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本社債発行の目的と背景

当社は2024年3月期から2033年3月期までを計画期間とする長期経営計画において、2031年3月期までに2020年3月期比でScope1およびScope2における温室効果ガス(GHG)排出量を46%削減という目標を設定し、この取り組みの推進のため、2023年10月に初版を策定したサステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを2025年2月に改定しております。

本社債は、2023年11月発行のサステナビリティ・リンク・ボンドに続き「気候変動に対するレジリエンス強化」に資金調達を通じて強くコミットするものとなっており、その着実な進捗を測定するためにKPI/SPT(※2)が設定されております。本社債の発行を通じて、長期経営計画を着実に推進し、持続的な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

2. 本社債の概要

社債の名称	京阪神ビルディング株式会社第15回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティ・リンク・ボンド)
発行年限	5年(予定)
発行額	50億円(予定)
条件決定日	2025年2月下旬(予定)
KPI	GHG排出量のScope1,2部分の削減率
SPT	GHG排出量のScope1,2部分の削減率(2019年度比) 2028年度41%削減
SPTの判定日	2029年10月末日
債券の特性	判定日において未達成の場合、本社債の特性は変動し、下記のいずれかまたは双方の特性を持つものとします。変動内容については、上記判定日以降、下記(1)寄付または(2)排出権の購入のいずれにするかを当社が決定します。

	<p>(1) 寄付 SPTが未達成の場合、本社債の償還までに、社債発行額の0.1%相当額を、環境保全活動を目的とする公益社団法人、公益財団法人、国際機関、自治体認定NPO法人、地方自治体やそれに準じた組織に対して寄付します。寄付先の候補は、SPT未達成の要因を精査の上、脱炭素等、SPT達成時に環境・社会にもたらされ得る便益と整合する活動を行っている組織とし、寄付先の選定は必要な機関決定を経て決定します。</p> <p>(2) 排出権の購入 SPTが未達成の場合、本社債の償還までに、社債発行額の0.1%相当額の排出権(温室効果ガス削減価値をクレジット・証書化したもの(※))を購入します。(※)購入する排出権の種類は、J-クレジット、グリーン電力証書等が想定されますが、実際に購入した排出権の名称、購入量、購入額などをウェブサイトにて開示します。仮に不可抗力的な事情から排出権を購入できなくなった場合は、排出権購入予定額に相当する金額を、特性(1)に示す法人、団体等へ寄付を行います。</p>
主幹事証券	SMBC日興証券株式会社(事務)、大和証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント(※3)	SMBC日興証券株式会社

3. 参考情報

- ・サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク

<https://www.keihanshin.co.jp/sustainability>

(※1) サステナビリティ・リンク・ボンド

あらかじめ定められたサステナビリティ目標を達成するか否かによって条件が変化する債券を言います。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標(以下、KPI)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPT)によって評価されます。SPTを達成したかどうかによって、条件が変化することで、発行体にSPT達成に向けた動機付けを与える債券です。

(※2) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の重要なサステナビリティ指標に基づく目標です。

(※3) ストラクチャリング・エージェント

サステナビリティ・リンク・ファイナンスのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言などを通じて、サステナビリティ・リンク・ファイナンスの実行支援を行う者です。

以上